

今日のキーワード 中国の『PMI』は堅調さを維持

『PMI』とは、購買担当者景気指数（Purchasing Managers' Index）の略で、景況感を押し量る上で注目されている月次の経済指標です。50を上回れば景気拡大、下回れば縮小を示します。3月は、中国の製造業『PMI』は春節休暇明けだったことで前月から上昇しました。一方、アジア圏では低下が目立ちました。米国の通商政策の変化が、中国のみならずアジア各国・地域にどのように影響が出るのか、今後も注目です。

ポイント1

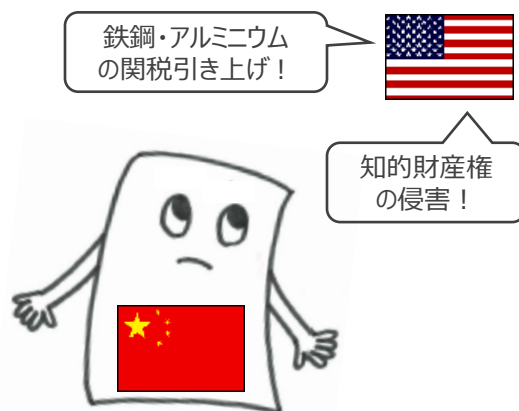
中国の『PMI』は春節休暇の影響を脱して上昇 受注も生産も改善

- 中国国家统计局が発表した3月の製造業『PMI』は前月比+1.2ポイントの51.5と、市場予想（ブルームバーグ集計、50.6）も上回りました。2月の春節休暇が過ぎたことに伴い、増産体制に移行したことを反映した動きと見られます。
- 内訳をみると、需要を反映する新規受注が同+2.3ポイントの53.3、供給を反映する生産が同+2.4ポイントの53.1と共に前月から上昇し、需要と供給の拡大を示唆しました。

ポイント2

アセアンの『PMI』は低下するも、50超を維持 韓国や台湾の『PMI』も低下

- 日本経済新聞社が発表した東南アジア諸国連合（アセアン）の3月の製造業『PMI』は50.1となりました。原材料価格上昇の影響などにより、2月の50.7から低下したものの、3カ月連続で節目となる50を上回りました。各国毎に見ると、フィリピンは前月から上昇したものの、インドネシアやタイ、マレーシア、ベトナムなどは低下しました。
- また、韓国と台湾の製造業『PMI』は、それぞれ前月比▲1.2ポイントの49.1、▲0.7ポイントの55.3と2月から低下しました。



50

今後の展開

米中貿易摩擦の影響がどのように表れるのか注目

- 中国の製造業『PMI』は、堅調さを維持しています。しかし、米国のトランプ大統領は鉄鋼・アルミニウムへの関税に続き、中国の知的財産権侵害への制裁を発表しました。中国は報復関税を発表し始めており、米中の貿易摩擦が懸念されます。しかし、両国にとって経済がダメージを被る貿易戦争に陥ることは避けると見られ、最終的には（1）中国の貿易黒字減らし策と、（2）知的財産やIT関連サービスを巡る貿易ルールをターゲットにした「管理された貿易摩擦」になってくると思われます。今後こうした影響が中国やアジア圏の『PMI』にどのように表れるかにも注目です。

ここも チェック！

2018年3月20日 アジア株式市場の見通し
2018年2月22日 アジアの『eコマース』市場は急拡大

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。